

子どもの読書活動促進を目的とした 図書管理システム

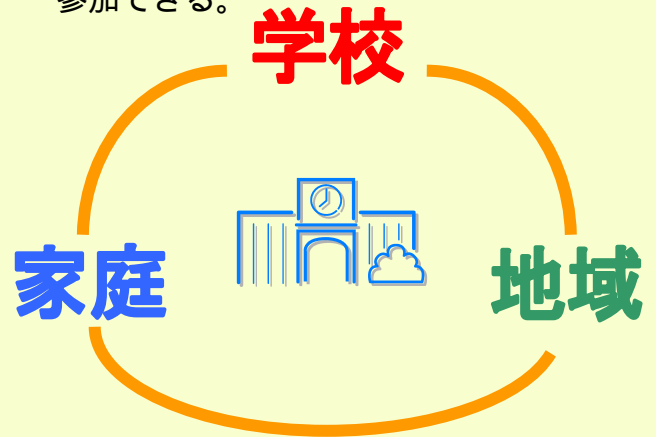
1. コンピュータによる図書紹介

- 図書紹介とは、互いに読んだ本を紹介しあい、それを読書のきっかけとするもの。
- 従来は、紙とエンピツで行っていた。



2. 学校・家庭・地域の連携

- インターネットを利用し、学校の外からでも図書紹介が行える。
- 保護者や図書ボランティアも図書紹介に参加できる。



3. ネットワークカメラ

- 学校図書館にネットワークカメラを設置。
- 図書館の「今」を映し出す。



4. 本棚の本の並びを表現

- ネットワークカメラで写した本棚の画像を図書検索のインタフェースとする。
- 「隣の本も読んでみよう」という行動から、読書の広がりを期待する。



5. 運用

- 共同研究を行っている地域の小・中学校に導入、運用し、研究授業などをとおして、評価をすすめている。
- 豊橋市立杉山小学校で約2年3ヶ月運用し、教員と子どもの図書紹介1064件、200世帯弱ある家庭の9.9%からアクセスがあり、図書紹介19件の図書紹介が入力された。

